

# 各部会報告資料

- ・子ども部会（P2-4）
- ・就労部会（P5-7）
- ・相談支援部会（P8-9）
- ・精神障がい者地域移行支援部会（P10-11）

## こども部会活動報告（令和7年度第2回）

### 1 部会の目的

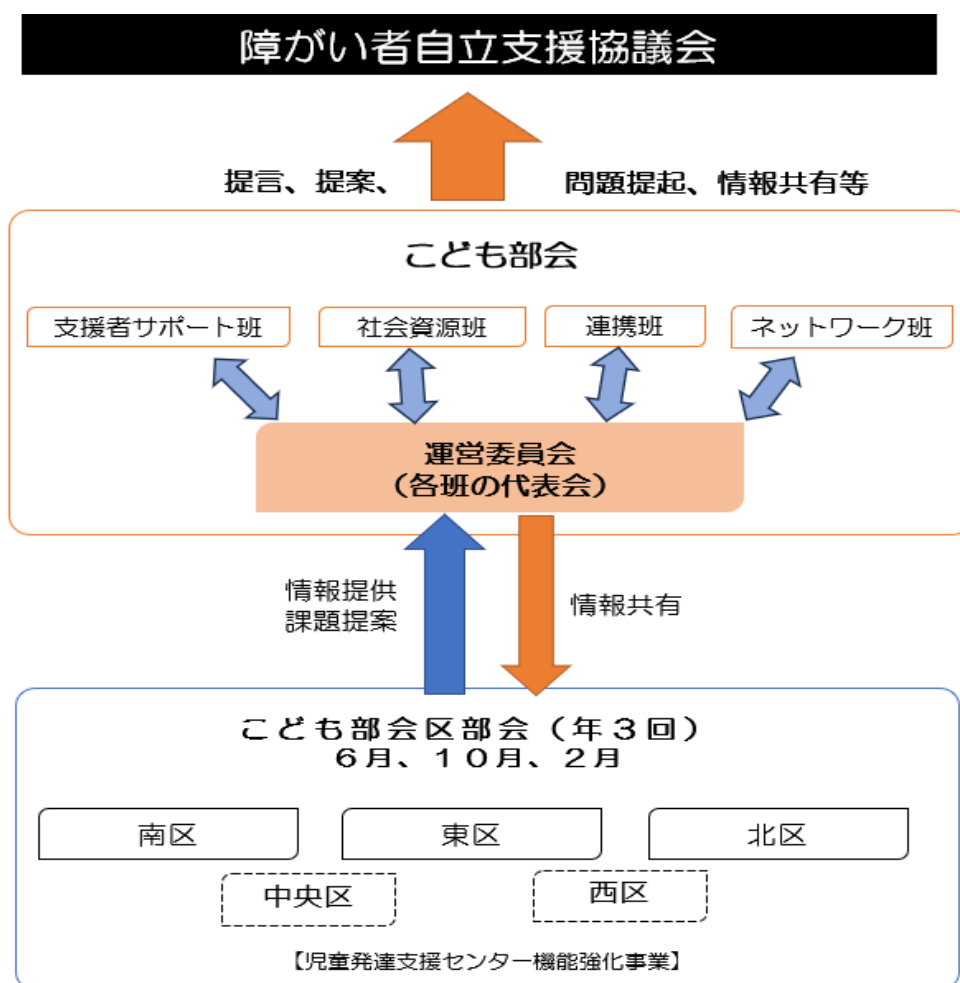
障がい児の支援について、関係機関等が情報交換を行いながらネットワークの構築を図るとともに、「障がい児とその保護者を支援する」という共通理解のもと、課題の整理や解決策の検討、社会資源の共有を図る。

### 2 令和7年度の運営体制

令和6年度からは、児童発達支援センター機能強化事業における取組のひとつであるこども部会区部会（旧：障がい児福祉ネットワーク会議）にて上がった地域課題に応じた班体制にて運営を行う。

また、毎月、部会開催前に運営委員会を開催し、当月の進め方や各班の進捗管理等について情報共有や意見交換を行う。

※運営委員会（第3月曜日）、部会（第4火曜日）



### 3 令和7年度の取組実績

#### (1) 取組内容

共通テーマ：地域で育てる、支える、見守る

##### ① ネットワーク班

(令和7年度取組予定)

- ①こどもプラグのシステム作成
- ②事業所からの情報収集
- ③プラグへの入力、調整

(令和7年度取組実績)

- ・こどもプラグへの要望の整理、掲載内容の検討
- ・事業所からの情報収集
- ・こどもプラグに関する熊放会との打ち合わせ

##### ② 支援者サポート班

(令和7年度取組予定)

- ①第1回区部会「地域への移行を考える」での意見交換をもとに課題抽出・ニーズ整理
- ②ニーズに対応する関係機関の意見聞き取り、対応案の提示
- ③対応案への取り組み

(令和7年度取組実績)

- ・第1回区部会で挙げた地域課題の共有
- ・地域課題の抽出、整理
- ・各班での取り組みへの検討と提案

##### ③ 社会資源班

(令和7年度取組予定)

- ①成果物（リーフレット・よかよかマップ）の周知・広報
- ②お子さんや保護者の方が必要な情報の収集・集約

(令和7年度取組実績)

- ・部会や区部会で成果物に関する周知・広報
- ・ミニ研修会にむけた打ち合わせ
- ・乳幼児期、学童期の2班に分かれて意見交換

#### ④連携班

(令和7年度取組予定)

- ①高等学校のアンケート集計と整理
- ②子どもたちの成長（発達段階）に応じた情報提供について

(令和7年度取組実績)

- ・高等学校（通信制含む）へ障がいのある学生への支援に関するアンケートを実施し、集計結果を各学校に周知
- ・ミニ研修会にむけた打ち合わせ
- ・“つなぐ”をテーマにした子どもたちの成長（発達段階）に応じた情報提供について、乳幼児期と小学校～高等学校の2班にわかれて課題整理

## (2) 振り返りと今後の予定について

今年度のこども部会は地域課題解決にむけた検討、整理および昨年度から引き続きおこなっているアンケートの考察、意見交換など、すべての班がより活発に活動できた。部会参加者が見聞きした保護者の声、こども部会区部会であげられた課題などから、より市民ニーズに則した課題を抽出できており、こどもの療育に関わる多くの人に各種情報を提供できるようになると期待される。

今後は成果物の周知・啓発について力を入れていくとともに、各班同士が連携して情報を精査し、必要な人に必要な情報が提供できるよう、広報の仕方などについてもより一層の協議を深めていく予定としている。

- ・11月 班活動
- ・12月 班活動
- ・1月 研修会
- ・3月 報告会（1年間の振り返り）

## 就労部会活動報告（令和7年度第2回）

### 1 部会の目的

『障がい者の「地域で働きたい」を実現させる』を目的として、熊本市における就労支援の課題とニーズを知り、その解決策を考え、よりよい就労支援を目指す。

### 2 令和7年度の取組

#### （1）運営体制

3つの班構成（企業就労班、ユニバーサル就労班、当事者対話班）で各班作業に取り組んでいる。毎月の部会開催後に運営委員会を開催し、翌月の進め方や各班の進捗管理等について情報共有や意見交換を行う。

#### （2）運営委員会開催状況

原則、毎月第2水曜日にオンライン（Zoom）開催しており、各班の代表者が集まって、部会の進め方等について意見交換を行っている。

#### （3）部会の開催実績

原則、毎月第1木曜日に開催しており、ミニ研修等と班活動を実施している。

	内容	参加人数
4月3日（木）	1 熊本市障がい者自立支援協議会就労部会について 2 班活動（年間計画の作成）	55名
5月1日（木）	1 班活動	52名
6月5日（木）	1 班活動	56人
7月3日（木）	1 全体活動（障がい者就労に関する地域課題の抽出・共有） 2 班活動	60名
8月7日（木）	1 ミニ研修 「業務効率化について」 2 班活動	49名
9月4日（木）	1 ミニ研修 「『働く』をあきらめない ～医療的ケア児の未来と就労支援の可能性～」 2 班活動	57名

#### (4) 各班の取組

##### ①企業就労班

###### <企業就労グループ>

- (目標)・障がい者雇用に関する情報発信 ・これまでの成果物の整理  
・班員の負担軽減、持続可能な取り組み

- ・「しごといく」総集編の作成 ・障がい者雇用に関する情報発信
- ・勉強会の実施

###### <定着支援グループ>

- (目標) 就労部会の取り組みを知ってもらい、企業理解を深める

- ・企業見学会の成功
- ・就労部会の取り組みや企業見学会の周知
- ・就労フェアに向けた企業見学会のまとめ

##### ②ユニバーサル就労班

###### <DX グループ>

- (目標)・事業所に対しての DX 化の普及・促進  
・在宅就労やその他の新しい働き方の調査・共有

- ・DX 化や新しい働き方についての情報収集・共有
- ・障がい者雇用事例動画集の追加・刷新
- ・就労フェアやユニバーサル就労班の活動のフォローアップ

###### <福祉事業所支援グループ>

- (目標)・利用者支援についての質の向上を図る  
・事業所間のネットワーク形成する  
・熊本市内における福祉事業所等についての情報収集を行う

- ・困りごとや課題などの各種情報を共有し、意見交換、ネットワークを構築する
- ・就労選択支援事業についての理解を深め、課題や困りごとを共有する
- ・熊本市内における福祉事業所等についての情報を集め、DX グループと協同し、データベースの作成に寄与する

###### <就労選択支援事業グループ>

- (目標) 熊本市内の就労系障がい福祉サービス事業所のデジタル化基盤整備と、ICT ツールを活用した(模擬)多機関連携会議の実践検証により、利用者主体の最適な就労支援体制の運用革新を目指す

- ・就労系障がい福祉サービス事業所のデジタルデータ化と統合基盤の構築
- ・模擬ケースを使った多機関連携会議テスト

### ③当事者対話班

(目標) 障がい当事者のはたらく「いりぐち」について考える

- ・ かべどん会（立場を超えて気軽に話せる場づくり）」の実施
- ・ 成果物「ふらっと新聞ミニ」の作成

### **3 今後の予定**

- ・ 10月 ミニ研修＋班活動
- ・ 11月 ミニ研修＋班活動
- ・ 12月 ミニ研修＋班活動
- ・ 1月 班活動
- ・ 2月 就労フェア
- ・ 3月 班活動、年度振り返り

## 相談支援部会活動報告（令和7年度第2回）

### 1 部会の目的

相談支援事業を行う事業者等が情報交換を行い、課題の整理や解決策の検討、社会資源の共有・開発、相談支援事業者のスキルアップに向けた取組等を行うもの。

### 2 令和7年度の取組

#### （1）班体制

運営委員会のメンバーを3つの班（フォローアップ班、地域課題班、ワーキンググループ班）に分け、各班で整理した課題をもとに検討した企画を全体会において実施。

毎月第3木曜日に運営委員会を開催し、次回部会の進め方や今後のスケジュール等について情報共有や意見交換を行う。

#### （2）取組内容

月毎に企画の担当班を割り当てて、部会を進行。

##### ① フォローアップ班

- ・ 計画相談支援事業所の連携、相互支援
- ・ 実施プロセスの標準化を図り、計画相談支援の促進

（取組実績）

- ・ 法令に基づいた計画相談支援業務の確認（インテーク、アセスメント）、意見交換
- ・ 意思決定支援についてのミニ講座、意見交換

##### ② 地域課題班

- ・ 地域課題に対するアプローチ、手立てについて検討

（取組実績）

- ・ 3つのグループに分かれて、それぞれのテーマについて地域課題セッションを実施。

##### A 班 行動援護（強度行動障害）の課題について

- ・ 相談支援専門員が持っているケースの把握を行うため、アンケートを作成。内容の検討が終了したため、10月実施に向けて準備を行っている。
- ・ 事業所を増やす手立てはないのかという視点から、居宅介護事業所に向けてアンケート内容を検討し準備中。

##### B 班 医療的ケア児者が地域で生活する際の課題の抽出

- ・ 小児在宅医療センターから講師を招き、講習会を実施。
- ・ 「医療的ケアが必要なお子さんと家族の為の支援ガイドブック」を基に相談員として確認が必要な項目について確認。



C班 地域に就労体験の場を確保するためにできること

- ・関係団体にヒアリングを行い、実情を共有し内容を検討していく。

### ③ ワーキンググループ班

- ・計画相談業務の見直しや確認
- ・計画相談様式の現状確認

- ・計画相談支援事業所の変更に伴う引継ぎ方法についてチェックリストを作成。
- ・介護保険サービスの切り替えの流れについて確認

### 【部会の実施内容】

	部会内容等	場所
5月15日	① 令和7年度熊本市自立支援協議会相談支援部会の活動について ② インフォメーション ③ 班活動・全体共有	北部公民館ホール
6月12日	① インフォメーション ② 班活動・全体共有	西部公民館ホール
7月10日	① インフォメーション ② 研修「虐待防止について」 ③ 班活動・全体共有	東部公民館ホール
8月14日	① インフォメーション ② 10月事例検討会についての説明 ③ 班活動・全体共有	託麻公民館ホール
9月11日	① インフォメーション ② 研修「就労選択支援について」 ③ 班活動・全体共有	東部公民館 ホール

※部会：原則毎月第2木曜日15時～17時

※運営会議：原則毎月第3木曜日13時～14時半

### (3) 今後の予定

10月 研修会（GSVの手法を用いた事例検討会）

11月 班活動

12月 班活動

1月 研修会（事例検討振り返り＋座談会）

2月 班活動

3月 班活動、年度振り返り

## **精神障がい者地域移行支援部会活動報告（令和 7 年度第 2 回）**

### **1 部会の目的**

「入院医療中心から地域生活中心へ」の基本理念に基づき、精神障がい者の地域移行に必要な地域体制の整備を図るとともに、地域の関係者が連携して退院に向けた支援を行うことにより、精神障がい者が地域で安心して生活することができるよう地域移行及び自立を推進することを目的とする。

### **2 令和 7 年度の実施状況**

#### **① 運営体制**

精神障がい者地域移行支援部会を「全体部会」とし年 4 回開催し、区毎の連絡会を「区部会」と位置づけ、地域（区）の課題抽出、具体的な計画・取り組み、顔の見える連携づくりを目的に年 3～4 回開催を計画。

その他、コアメンバーによる会議を毎月開催。運営事務局としての役割を目的として事業の年間計画や方針等を決定し全体部会や区部会への働きかけや周知を行っている。

#### **② 取組内容**

##### **1、全体部会**

- |           |   |
|-----------|---|
| 6 月 1 0 日 | 第 1 回全体部会開催（出席 6 3 名、ZOOM 開催）<br>内容・事業説明、年間計画<br>・地域移行支援基礎研修<br>・各区部会の報告<br>・グループでの意見交換 |
| 9 月 1 8 日 | 第 2 回全体部会開催（ZOOM 開催予定）<br>内容・各区部会の報告<br>・（研修）熊本市の地域体制支援拠点整備について<br>・グループでの意見交換、質疑応答     |

##### **2、区部会**

各区 3 回～4 回実施。地域移行支援個別給付の経過報告に加え、各区の課題をもとにした取り組みについて話し合いを行っている。

##### **3、コアメンバー会議**

- |     |                          |
|-----|--------------------------|
| 4 月 | （出席 1 9 名）区部会報告、全体部会年間計画 |
| 5 月 | （出席 9 名）6 月全体部会検討        |
| 6 月 | （出席 1 4 名）6 月全体部会振り返り    |

7月	(出席7名)	医療機関訪問について、ピアサポーター活用事業について 9月全体部会検討
8月	(出席5名)	医療機関訪問について、ピアサポーター活用事業について 9月全体部会検討
9月		9月全体会振り返り(予定)

### 3 今後の取組予定

#### 1、全体部会

第3回目を12月、第4回目を2月に予定。

今後も地域移行の普及啓発に向け、働きかけを行っていく。

#### 2、区部会

各区年3～4回の開催を予定。

既に1～2回が終了しているが、今後も区部会内で情報共有を継続しつつ、普及啓発を進めていく。

#### 3、コアメンバー会議

月1回の開催を予定。

- ・全体方針や計画を検討し、区部会と連携しながら事業の促進と浸透を図る。
- ・全体部会の企画調整、運営を行う。